



堀船中だより

北区立堀船中学校長 鈴木 格也



主体的に取り組む

校長 鈴木 格也

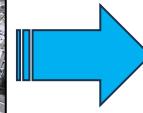
学校では 10 月 10 日（金）に 1 学期終業式を迎え、10 月 14 日（火）には 2 学期の始業式となります。終業式は全校で一緒に区切りを迎える儀式であり、これまでの学業や学校生活の成果を振り返り、2 学期始業式からの新しい生活に向けて気持ちを切り替えるきっかけとする大切な 1 日です。各自が、儀式の意味合いや目的を意識して迎えられることを望みます。

さて、9 月からは学校内・外で様々な行事が取り組まれているところです。9 月 20 日（土）は地域行事に堀船中生徒がボランティアとして、「栄町ふれあい広場」と昭和町の「祭礼ふれあい広場」でお手伝いをしました。当日は、30 数名のボランティア生徒が 2 か所に分散して集まり、テント張りや資材の準備、販売の補助などを町会のみなさんと一緒にになって手伝いました。栄町ふれあい広場では、雨降る中、生徒が大江戸ダンスを披露し、会場の皆さんに地元中学生の若くエネルギーッシュな姿を感じていただき、町会の方々より感謝の言葉を受けました。他にも町会の方々からは、“本当によくやってくれる” “中学生が手伝ってくれると本当に助かる” “私たちだけではできないので、若くて頼りになる中学生がいて助かるわ” と言った声が返ってきました。同様にして、10 月 4 日（土）・5 日（日）の区民まつりにおいても、焼きそばの販売やパック詰め、ごみの分別回収のボランティア活動に参加し、町会の方から感謝されました。地域行事に貢献してくれたボランティアの生徒には本当に感謝です。このようにして、地域にある学校が地域の行事のお手伝いを行うことは、地域の方々に喜ばれ、頼りにされる機会であり、地元の生徒と町会の方々がつながり合うための意義あることだと感じています。9 月 26 日（金）は、北区中学校連合体育大会が舍人公園陸上競技場で行われ、校内で選抜された代表生徒が自己の限界に向けて取り組み、入賞生徒も多数ありました。10 月 3 日（金）は生徒会役員候補者立会演説会と選挙が行われ、各立候補者からは今後の堀船中をどのように盛り上げていくか、はっきりした声で選挙公約を伝えました。また、応援者からの話も立派でした。みんなから信任された立候補者の今後の活躍が楽しみです。先に紹介したボランティア活動も含めた一つ一つの活動で、充実させる機会となった人もいると思います。充実した日々を送るために大切なことは、主体的に小さなことでも、大きなことでも目標を実行し、できた自分自身をほめること、認めることができることが充実した生活となります。今後に続く学校内・外の行事に、日常の学習活動に、主体的に取り組む機会をもってほしいです。

新校舎改築工事の進捗

着々と工事が進められ、校舎の基礎を仕上げている様子がうかがえます。

(8 月 → 9 月)



◆ 生徒のボランティア活動 ◆

本校では、生徒が地域に貢献し、社会性や自主性を育むことを目的として、積極的にボランティア活動に取り組んでいます。地域のお祭りの設営や模擬店のお手伝いをなど、地域行事を支えるさまざまな活動に参加させていただきました。地域の方々と一緒に作業することで、協力する楽しさや役割を果たす責任感を実感することができました。これからも、地域とともに成長し、社会に貢献できる生徒を育むために、ボランティア活動の機会を大切にしてまいります。



◆ 生徒会の活動報告 ◆

本校生徒会では、より良い学校づくりを目指し、日々さまざまな取り組みを進めています。本年度は、渋沢栄一翁の新1万円札発行から1周年を迎える節目に合わせ、ふるさとを理解し誇りに思う心を育む「立志と忠恕のまちづくりサミット」(7月3日)に参加しました。渋沢栄一翁ゆかりの地域をはじめとする各地の中学生と意見を交わし、お互いの地域の魅力を紹介し合うことで、地域理解を深めるとともに、生徒主体の活動を積極的に展開しました。この経験は、今後の学校生活や地域活動にも生かされる貴重な学びとなる機会となりました。

